

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和五年七月度 入賞句一覧

投句数 千五百十八句

特選

高木 恵理 選

夏休みいちもくさんににげていく

大垣市

松岡 咲斗(小五)

夏休み三日前のわくわく感。やる気に満ち溢れる夏休み初日。暑さで疲れ始めた夏休み三日目。「えっ、明日から八月？」と焦る七月末。夏の終わりが見えるお盆過ぎ。ああ、知らない間に夏が過ぎていきます。夏休みを追いかけても、追いつかない。追いついたと思ったら二学期。子供だけでなく大人も共感するユニークな俳句です。

地下道でキラキラ光る金亀虫

大垣市

深尾 侑生(小六)

金亀虫の成虫は、光沢のあるきれいな緑色をしているから、黄金虫とも書きます。一方で幼虫は土の中で成長します。幼虫は植物の根を食べてしまうので、人間にとっては害虫だと嫌われているのです。でも、蛍光灯に寄つてキラキラ光る金亀虫の成虫は美しい。どんな生き物もみんなそれぞれ輝く場所があるのだな、と考えさせられる俳句です。

ザリガニがうしろににげる目はどこだ

大垣市

住田 らな(小二)

ザリガニを捕まえようとする作者。前を見ながら後ろへ逃げるザリガニ。えっ、どこに目があるのか、じつとザリガニを見つめ考える作者。一方で、大きなはさみを振り上げフアイティングポーズのザリガニ。ザリガニの戦いぶりに、闘争心が燃え上がります。両者一步も譲らず。さて、この戦いはどちらに軍配が上がったのでしょうか。

秀逸

すいか割り行き交う声に惑わされ

加茂郡川辺町

馬場 翔(中三)

すいかわり地球わつちやういきおいで

加茂郡川辺町

村瀬 早紀(中三)

夏の空悩みも雲も一つもない

加茂郡川辺町

藤井 結乃(中三)

いつもより早おきしなきや夏休み

大垣市

佐藤 祐(小二)

夏休みまい日ママのおてつだい

大垣市

伊藤 唯愛(小二)

ひまわりが空に向かって咲いている

大垣市

廣岡 睦人(小五)

かたつむり雨に気付いて歩き出す

大垣市

小山 琉生(小五)

ひまわりと共に見上げる青い空

大垣市

安藤 稟乃(小六)

すいかわりこえをたよりにぼうをふる

大垣市

垣地 創太(小六)

ばつたとぶ兄といっしょにぼくもとぶ

大垣市

荒谷 桃我(小二)

入選

夏の海波にうたれる砂の音

大垣市

安藤 稟乃（小六）

雷に刺激をされてやる勉強

加茂郡川辺町

池田 徹晶（中三）

弟が虹の終わりを探してる

加茂郡川辺町

堀井 咲来（中三）

ばしよの葉ぐんぐんのびてわれている

大垣市

三上 晴也（小六）

かえるがねにわでびよんぴよんとんでいた

大垣市

中切 淳仁（小二）

くつ下をはいてるみたい日やけあと

大垣市

佐藤 祐（小二）

たのしみだめだかのたまごうまれそう

大垣市

関段 りほな（小二）

弟がゆらゆらゆれるハンモック

大垣市

西村 羽生（小五）

アメンボウ忍者のように動き出す

大垣市

山下 サイジャン（小六）

太陽がきらきら見える夏の空

大垣市

金森 世哩（小六）

サングラスみえる世界がちがつてる

大垣市

代 靖睿（小六）

風鈴がなるといつしよに風がふく

大垣市

山本 紀咲菜（小六）

ランドセル背おつたとこにあせをかく

大垣市

後藤 楓（小六）

太陽がドーンと光る夏が来た

大垣市

後藤 悠月（小六）

アメンボはすいすい前へ進んでく

大垣市

木村 斗哉（小六）

うつすらとせみのなきごえきこえるよ

大垣市

姉崎 想生（小三）

夏休み一人ぼつちの白チョコレート

大垣市

伊藤 蒼徠（小六）

夏休み留守番する日多すぎる

大垣市

岡野 勇助（小六）

夕焼が私の背中照らしてる

大垣市

松本 ちかげ（小六）

炎天下ペダル踏み込む通学路

加茂郡川辺町

古川 帆稀（中三）

選者吟

鯨が歯を食ひしぼる酷暑かな

恵 理



小中学生の部